

いぬなし青葉

令和6年5月2日

第3号

校長 山下英樹



山手中HP

山手中学校区の道路にはハナミズキの木がたくさん植えられています。4月後半から白や淡いピンクの色の花を咲かせており、見ごろとなってきました。また、校区内のほとんどの田んぼで田植えが終わり、薄い黄緑色が一面に広がっています。我が家の近くのお家の庭にはきれいな紫色の藤の花が満開となってきました。登下校の時、ちょっと周りの草花に目をやり、季節を感じてください。もうすぐ立夏（今年は5月5日）を迎え、初夏のさわやかで美しい季節を迎えます。美しいものを感じてください。

● ピンクシャツあいさつ運動を行いました。

4月23日（火）24日（水）の2日間、生徒会役員と生活安全委員会のみなさんが、朝の登校時間に合わせ、「ピンクシャツあいさつ運動」を行ってくれました。みなさんは「ピンクシャツ運動」が「いじめ防止」を呼びかける運動であることを知っているでしょうか？

「ピンクシャツ運動」とは、2007年、カナダの学校で実際にあったいじめをきっかけに起こった「いじめ防止運動」です。当時の中学3年生の男子生徒がピンク色のポロシャツを着て登校したところ、からかわれ、暴行を受け、たえきれずに帰宅してしまいました。その出来事を聞いた2人の上級生（高校3年生）が「いじめなんて、うんざり！」「アクションを起こそう！」と思い、その日の放課後、量販店でピンク色のシャツ等を買いました。そしてその夜、SNS等を通じてクラスメートたちに「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と呼びかけました。翌朝、2人はピンク色のシャツを入れた袋を手に登校しました。学校について校門で配りはじめようとしたところ、ピンクシャツを着た生徒たちが次々と登校してきました。ピンクシャツが用意できなかった生徒たちは、リストバンドやリボン等、ピンク色の小物を身につけて登校してきました。頭から爪先まで、全身にピンク色をまとった生徒もいたようです。いじめられた生徒は、ピンク色を身につけた生徒たちであふれる学校の様子を見て、肩の荷がおりたような安堵（あんど）の表情を浮かべていたそうです。

4月のスタートはどのクラスもとても良いスタートができています。始業式・入学式から1か月がたち、新しい環境や新しい関係に慣れてくる頃です。最初は堅かったクラスの雰囲気も少しずつ和らぎ、教室に笑顔が増えてきており、安心していきます。しかし、時折、「慣れ」が「馴れ馴れしき（なれなれしき）」につながり、つい、調子に乗って軽はずみな発言をし、人の心を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることがあります。直接発する言葉だけでなく、SNS上での投稿にも気をつける必要があります。「そんなつもりじゃなかった」と言っても、文字だけを見ると「そう受け止められても仕方がない」場合がよくあります。

あいさつ運動の時、生活安全員の人が「**周りの人に優しくしましょう**」と呼びかけていました。「**人に対する優しさ**」があれば、いじめをなくすことなんて、難しいことではないと思いませんか？ また、SNSの使い方でも誰かを傷つけたり、不安にしたりするのではなく、誰かを元気づけ、誰かを励ますものでありたいですね。

【保護者のみなさまへ】始業式・入学式から約1か月、頑張っている生徒の姿をたくさん見かけたり、報告を受けています。とても良いスタートだと安心するとともに、生徒の頑張りを感じています。しかし、例年、5月くらいから、頑張りがきかなくなったり、新しい人間関係に疲れてきたりすることがあります。お子様の様子をよく見ていただき、気持ちを聴いていただく機会を持っていただくとともに、気になることがありましたら、担任や学年の教員、スクールカウンセラー等にご相談ください。（330-0046）また、SNSでのトラブルも、学校生活に慣れてきたこの時期からが多くなってきます。SNSについては、お子様のSNSの使い方について把握をしていただくとともに、お子様と話し合っただけで決めてください。また、SNSの正しい使い方や受け止め方についてもお話してください。



【生徒の活躍紹介】

●4/20（土）21（日）に津市の体育館 SAORINA で行われた三重県バレーボール協会主催「2024 年度 The 2nd Fusion Cup U14」大会において、男子バレーボール部が準優勝しました。その大会で、3年生の [] さんが優秀選手に選ばれました。

●5/16（木）～5/19（日）に千葉県の吉田記念テニス研修センターで行われる日本テニス協会主催「2024 ダンロップカップ 第4回全国選抜ジュニアテニス選手権大会 兼 ワールドジュニアテニス世界大会代表選考会」に1年生の [] さんが、男子シングルスに出場します。

● 交通ルール、マナー、守っていますか？

4月に入って、地域の方から、交通ルール、マナーについて、学校へ電話をいただくことがありました。主な内容は次のようなことです。

- ① 広がって歩いている生徒をよけようと自転車の生徒が急に歩道に出たり、道の右側を走ったりする。
- ② 交差点で停車せずに飛び出してくる自転車の生徒がいる。
- ③ 道路の右側をかなりのスピードで逆走をしてくる自転車通学の生徒がいる。

どれも危険な行為で、事故があった場合、大きなケガや命に関わる重大な事故につながりかねません。自分の命を守るとともに、自転車は加害者にもなりうるので、**他者の命を守るためにも、ルールを守り、安全運転を心がけましょう。**ルールを守らず過失があれば、未成年でも加害者として罪に問われます。実際の例を紹介します。

・小学生が夜間自転車で女性と衝突し、女性が重い後遺症を負った。自転車の小学生の前方不注意が主な事故の原因として、裁判所は9500万円の賠償責任命令を下した。裁判では小学生がヘルメットをかぶっていなかったことも判決に影響した。

・夜間に無灯火で自転車に乗っていた男子高校生が、パトカーの追跡から逃げるために時速40km以上で走行。前方で待ち受けていた警官に追突。追突により転倒した警官は2ヶ月後に死亡。高校生には9400万円の賠償金と、禁錮3年、保護観察付き執行猶予5年の判決が下った。

山手中学校は生徒数595人の大きな学校です。下校時はたくさんの生徒が一斉に帰路につきます。交通ルールを守るとともに、**周りの歩行者や車の運転手、また、近隣住民の方たちへの心配り、気配り**も大切です。教室で担任の先生から注意を受けたり、下校指導で注意を促したりしていますが、**大事なのはみなさん自身の行動**です。自分と周りの人のために「**誰も見ていないところでも、ルールやマナーをきちんと守り**」ましょう。

【自転車運転5則】

- ① 車道を走ることが原則、左側を通行します。歩道を走るとは例外で、歩行者を優先します。
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認をします。
- ③ 夜間はライトを点灯します。 ③ 飲酒運転は禁止。
- ⑤ ヘルメット着用が努力義務化されています。登下校時以外でも着用しましょう。

【保護者のみなさまへ】 ●4月23日～25日の学校公開には、多数の保護者の方にご来校いただきありがとうございました。書いていただいた感想には「子どもが楽しそうに授業を受けていて安心した」「すれ違う生徒があいさつしてくれて、うれしく感じた」等、学校の落ち着いた様子を肌で感じていただいたものが多くありました。このような状態が続くよう、今後も努力してまいります。また、施設面でのご意見もいただきました。改善に向けて努力していきます。

●26日の進路説明会、修学旅行説明会にも多数の3年生の保護者にお越しいただき。ありがとうございました。進路選択に向けての情報は進路通信等でお知らせしていきます。気になることがありましたら、担任や進路担当にご相談ください。（進路通信はH&Sで1・2年生の保護者にもお送りしています）

●欠席連絡等は8時20分までにH&Sでお知らせください。原則、返信は行いません。また、土日は学校の電話がつながりませんので、部活動の欠席連絡等もH&Sをお願いします。その場合は必ず【部活動】を選んでください。（【部活動】を選ばないと部活動顧問に連絡がいきません）

●学校には登校できるものの、教室に入ることができない生徒のための登校サポート教室「ひだまり」を校内に開設しました。登校することで学校生活のリズムに慣れ、小集団での生活を送ったり、学習を行ったりすることにより、在籍する学級でも学校生活を送ること、また、社会的な自立ができるようにすることを目的としています。詳しくは担任に問い合わせてください。